

令和3年10月1日

山口県議会議長
柳居俊学様

拝啓

9月29日に行われた自民党総裁選挙で、岸田文雄氏が新総裁に選出されました。
岸田新総裁は、冒頭の挨拶で、「私の特長は、人の話をよく聞くことだ」と述べられました。
やがて、内閣総理大臣に任命され、国政を担われる岸田氏が、この言の如く、国民との対話を大事にし、国民に寄り添った政治を实践されるよう心から願っております。

この観点に立つて、山口県政を眺めますと、県民の声に反する事象が存在することに気が付きます。
具体例を申し上げますと、貴賓者用として2000万円もする自動車・センチュリーを県が購入し、公用がない時は、貴職が自宅から県庁までの通勤に使用していることが、挙げられます。
本件に関しましては、山口地方裁判所で裁判が行われており、また、関連する監査請求2件が既に提起されております。
私は、「通勤旅費の二重取りを是正せよ」と訴えた監査請求の請求人に名を連ねており、監査請求時に、添付資料に記載した内容の意見陳述を行いました。
資料をお読み頂ければおわかり頂けますが、本件の解決には、県政を司る県知事、県議会議長の決断と実行が欠かせないと私は考えています。

今回、不躰にも、資料を貴職の自宅あてに郵送致しましたのは、県職員の裁量で、資料が貴職の目に止まらないまま放置されている可能性があると考えたためであります。
もし、すでに確認済みでしたら、当方の不徳をお詫び申し上げます。

国政が岸田新総裁の手で変換を遂げようと動き出したこの機会にあわせて、山口県政を司る貴職の指示により、「センチュリー問題」が一気に解決に向かい、「さすがは山口県！」と言われることを願ってやみません。

どうぞ勇気あるご裁断を賜りたくお願い申し上げます。

敬具

岩国を守る会「風」
南部博彦

0827-31-1467

hnambu935@sky.megaegg.ne.jp

コピー配布先 : 山口県庁記者クラブ